

コンサートレポート

東金シニアアンサンブル第2回演奏会

去る9月30日、台風24号の影響で朝から強い雨の中、会場の東金文化会館へ向かう。メンバーは早々と参集し、それぞれ張り詰めた顔で開場のセッティングに、リハーサルにと気忙しく動き回る。気もそぞろに昼食を取るうちにいよいよ開場時間となる。舞台の裾から覗くと、やはり台風の影響か空席が目立つ。MCのアナウンスで指揮者大野先生の登場となって演奏開始。

演奏プログラムは5部構成で、第1部は人生をメロディーにのせて・・・と銘打って「いい日旅立ち」、「糸」、「こんにちわ赤ちゃん」、「サザエさん」の4

曲。第2部はクラシック曲で歌劇椿姫から「乾杯の歌」、「ハンガリア舞曲第1番、5番」など4曲。第3部は初めての試みで指揮者による楽器紹介と各グループでの小演奏。休憩を挟んで第4部は「ラ・クンパルシータ」、「カプリ島」、「エデンの東」。第5部は秋立ちぬ・・・とし、「小さい秋見つけた」、「里の秋」など季節の歌の他5曲を演奏。最後の3曲は、来場者の合唱で歌声が響きわたり、盛り上がりは最高潮に。アンコールに応え、ご当地ソングとなる「証城寺の狸囃子」を再演し終了となる。

我が楽団はまだレパートリーが少ないため新たに取り組んだ曲が多く、不安なパッセージもあって団員の表情も硬いまま。ペテランメンバーの「楽しんで行こう！」の声掛けにも、新曲を並べた第1部中盤まで乗り切れないまま。しかし終わってみれば、演奏ごとに頂く聴衆からの暖かい拍手と、音響設備の素晴らしいホールでの心地よい響きもあって何とか大過なく演奏し、乗り切った。達成感に浸る間もなく客席に降り、そして入場口で来場者にお礼のあいさつ。その頃には雨も降りだし、皆さんの足取りも帰宅を急がれる様子。何はともあれ、台風の襲来前に一大イベントを終えホット胸をなで下ろす。来場者は160名程であったが、この嵐の直前によくぞお運び下さったと感謝あるのみ。アンケートにも多数のコメントを寄せて頂き、我々が気付いた課題と共に、次回の演奏会開催の糧と致したく。また、愛され親しまれる地域の楽団を目指し精進しようと決意を新たにしたい次第。

強まる暴風に気にしつつ打上げの会で頂くビールのなんと旨かったことか。 東金シニアアンサンブル 其原章治



第1回神奈川シニアアンサンブル コンサートを聴いて



デュークグリーンサウンド 佐野敬次

3楽団が一同になって演奏会をしたことは、私が全日本シニアアンサンブル連盟に入って初めての出会いでありよくぞここまで他チームと手を取り合って成し遂げたと感心しました。また、どんなプログラムを組んでお互いを高め合ってきたのか楽しみに会場へ入りました。各個々にチームの良さを思う存分発揮して とても楽しい時間を過ごすことができました。第1団体のアゼリア合奏団inシニアには内容がオカリナありハーモニカがあって大正琴も取り入れてどんなサウンドになるか楽しみに聴いていました。とてもきれいなハーモニーで素晴らしいかった。

第2団体のアンサンブルシーガル横浜、私は前回も聴かせて頂きましたが今回ははるかに音の安定感が良く、管楽器が好きな私は高音部と低音部のバランスが良く素晴らしい演奏だと思いました。

しかし、もう少し曲の中での各パートのソロを聴か

せて管楽器の表現が欲しかったと思います。第3団体のアンサンブルスルーザ横須賀に対しては、始めの曲の「夜空のトランペット」のソロは目を見張るものがあった。また曲の良さとメロディック、テクニクにはとてもベテランの味がして素晴らしい演奏だと思いました。私は今回が一番印象的でロマンチックに感じました。そして曲のムードを変えて「エル・クンパチェロ」でのサンバダンスは会場をパット明るく楽しくさせてくれました。音楽の楽しさを味わって気分を高めて、全体を盛り上げて観客とバンドと一体の時間がありました。私はこの3団体の演奏活動に良い刺激を頂き、これから少しでも将来へ高い目標を掲げ頑張りたいと思います。